# ライブハウスイベント・感染症対策監修報告

京都大学レジリエンス実践ユニット

本ユニットでは、令和 2 年 8 月 2 日に東京都町田市にて開催されたライブ・ハウス・イベント「SHOW MUST GO ON」(主催: ThePlayHouse、協力:一般社団法人ライブハウスコミッション)の、新型コロナウイルス感染症対策を監修した。以下、そのイベント監修概要を報告する。

# 1. イベント概要

日時:令和2年8月2日 午後5時半~午後9時

会場:町田 ThePlayHouse (〒194-0021 東京都町田市中町 1-18-15 クローヴビル 1F)

主催:町田 ThePlayHouse

監修:京都大学レジリエンス実践ユニット 藤井聡・宮沢孝幸

協力:一般社団法人ライブハウスコミッション

定員:70名(入場チケット:¥2000)(なお、同金額でネット配信も実施)

当日スケジュール:

14:30-15:15 感染症対策当日ミーティング

15:15-16:30 リハーサル

17:00 開場

17:30-17:35 藤井聡レジリエンス実践ユニット長から感染防止対策の概要を解説

17:35-18:05 新船将徳 ライブ

(休憩・換気)

18:15-18:45 Break Up Street ライブ

(休憩・換気)

19:00-19:45 藤井先生、宮沢先生、SAYA トークセッション (※)

(休憩・換気)

20:00-20:30 ℃フース゛ライブ

(休憩・換気)

20:45-21:30 マサナオ(Yasei Collective)×コ゛セッキー(WUJABIN BIN / ex.在日ファンク)ライブ

**※トークセッション動画**: https://www.youtube.com/watch?v=0-yr0jkEXnQ

# 2. 結果

- ・参加者数:70名(満員)
- 感染者報告:なし(ライブから2週間以上経過した令和2年8月17日時点保健所確認)
- 参加者ライブ満足度が「6.7」とほぼ最高値の水準

(『今回のライブは、「満足できた」と、どれくらい思いましたか?』に対する回答を  $1\sim7$  の 7 段階評価にて評価を要請。その回答者平均値)

#### - 参加者リスク認知度が「1.5」とほぼ最低値の水準

(『今回のライブで、「感染してしまったかも?」と、どれくらい思いましたか?』に対する回答を 1 ~7 の7 段階評価にて評価を要請。その回答者平均値)





満員(70人)で実施。前方に2列(20名)の座席。後方立ち見(50名)

# 3. 新型コロナウィルス感染防止対策

#### (1)概要

今回の感染防止対策は、1) ライブハウス内、および、その事後における**あらゆる感染ルートを検討し、そのルートを遮断する最善の方法を逐一検討**して「リスクゼロ」を可能な限り目指すと共に、2) 万一、無自覚・無症状感染者がライブハウス当日に来場していたケースに、その被害を最小限に食い止めつつ、迅速な対策が打てる体制を整える、という二本立ての対策を図った。

そして、その対策を、

- 観客
- ・ライブハウス店舗側
- 演奏者

の三者が協力しつつ実践するという対策を提言。

以下に、この三者それぞれに対して、本ユニットから提案した依頼事項・対策事項をま とめる。

### (2)観客への依頼事項

観客には、以下の「①事前通知文」の連絡を予め送付しておくと同時に、当日は、「② 挨拶文」「③当日配布チラシ」の二種類の文書を、当日に配布する。その上で、ライブ開 始前の挨拶時に5分間、藤井レジリエンスユニット長よりその主旨と概要を解説した。

#### ①事前通知文

- ・体調がすぐれない方はご来場をお控えください。 発熱・咳・下痢・味覚障害・ 嗅覚障害・だるさ・息苦しさなど症状がある方 新型コロナウィルス感染症の陽 性と判明した方との濃厚接触があった方 同居家族や身近な知人の感染が疑われ る方はご入場いただけません。
- ・ご入場時、**非接触タイプ体温計を使用し検温を実施**致します。 検温時 37.5℃以上ある方はご入場いただけません。

解説注:以上2点は感染者来訪リスクを最小化するための事前通知





ライブハウス入り口で検温実施 指消毒を依頼

ライブハウス入り口で手

・基礎疾患のおありの方、高齢者(60 才以上の方)、妊婦の方は、万一感染された場合、重症化するリスクが、それ以外の方に比べて数十倍~百倍以上もあります。ついては、できれば、参加はお控え下さい。もし参加される場合は、上記の来場時の「5 つのお願い」については、特に徹底的にご配慮下さい。

解説注:感染発生時の重症化リスクを最小化するための事前通知

#### ②挨拶文

新型コロナウイルスは、基本的に「飛沫感染」か「接触感染」で広がります。

ですから、ライブハウス内&その前後で

「飛沫が飛ばない工夫」と<u>「自分の手から目鼻口にコロナが移らない工夫」</u>の二点さえ行えば、感染リスクは「ほぼゼロ」になります!

ご協力、お願いします!

町田 ThePlayHouse

P.S 今回、「マスクを着用し、小さな声での会話」であれば、都内の電車等でのご移動時と同様、**過度なソーシャルディスタンス確保を必ずしもご依頼いたしておりません**。また、空気感染リスクについては、ライブハウス側で換気の対応をいたします。

解説注:感染対策の基本的な考え方を告知

#### ③当日配布チラシ

### 皆様への5つのお願い!

- ①マスクの常時着用をお願いします! (マスクがない方はご入場いただけません: ただしステージにたたれる演者の皆さんにはマスク以外の対策を講じます)。なお、暑ければ「鼻」を出したマスク着用でも構いません。ただし、ドリンクを飲まれる際に一時的にマスクを外される時は、発話、歓声はお控え下さい!
- ②「大きな歓声」や「大声での会話」もお控え下さい。

(※ 「マスクの隙間」から飛沫が漏れるころを避けるためです)

③「目鼻口は触らない」で下さい!

(※ 手からの接触感染を避けるためです)

④入場時、終了後の**こまめな手指のアルコール消毒(手洗い)**のご協力お願い致します。会場内各所にアルコール消毒液をご用意しております。ご利用ください。

(※ これも手からの接触感染を避けるためです)

⑤「ライブ後」も、日常的な感染対策を是非、お続け下さい!

これからもできるだけ、普段から

「1)目鼻口を触らない、2)こまめな手洗い、3)宴会・カラオケ注意」の三つだけはご注意下さい。これだけで、感染リスクはほぼゼロになります。

ついては、**本日もできれば「飲み会」は避けてそのままご帰宅下さい** m(\_\_)m。

- (※ もし、食事等に行かれる場合は、以下の四点に配慮下さい。
- 1) 食事は全員で「とりわける」ものでなく個別にサーブされるものにする、
  - 2) できるだけ静かなお店でできるだけ小さい声で会話する、
- 3) 可能ならマスクをしながらドリンクの時だけ一時的にマスクを外す、
  - 4) 飲酒は軽目に)

### ライブハウス側の対応は・・・

- ・飛沫防止のため、受付・ドリンクカウンターにビニールシートを貼らせていた だいております。また、スタッフもマスクを着用させていただきます(なお、 演者はマスク以外の対策を図ります)。
- ・前 2 列に座席をご用意致します。こちらの席ご利用の方はフェイスシールド (貸出あり) **の着用**をお願いします。

解説注:演奏者からの飛沫感染リスクを最小化するための対策です

- ・スナック菓子等食べ物は提供致しません(手からの接触感染を避けるため)。 御了承下さい。
- ・30分に1回10分程度の場内換気を実施致します。 1階ロビーは常時換気しております。
- ・ドアノブ・手すりなど不特定多数が触れる箇所の消毒を実施致します。

## 万一のために・・・

・お客様リストを作成させていただきます。万が一、(無自覚な) 感染者が来場していたケースに備え、ご入場時にお客様にはお名前と電話番号を記入いただきます。感染者の来場が後で分かった場合等に、保健所などに申告内容をお伝えしますのでご了承願います。

解説注:万一無自覚感染者が来訪していたケースが事後的に発覚した場合に迅速対応が可能となる事を企図しての対応っです。

#### (2)出演者への依頼事項

観客への注意事項を全て踏襲しつつ、以下の4点の依頼事項を提示。

①入場者の皆様と、同様の対応をお願いいたします(体調不良の方の入場禁止=出 演キャンセル、検温、打ち上げはできるだけ避ける、行う場合には各種に要配慮 等)

②ただし、ステージ上でのマスクは必要ありません(楽屋等ではマスクをお願いします)。その代わり、ステージ上では以下の三点にご配慮下さい。

- 1) **ボーカルはフェースシールド付きマイク**を使う
- 2) ボーカル以外は、大声での発話を避けるか、
- 3) 以上ができない場合は、2mのソーシャルディスタンスを確保する。

- ③その他、楽屋も十分に消毒・換気対策を行う予定です。 また、密にならない様に出演時間帯に応じて人数制限等を行わせて頂きます。
- ④物販は、感染リスクが高くなる機会です。ついては、物販の際には、接触感染、 飛沫感染が起こらないように下記対応を図ることを前提として下さい。もしそれ が出来ない場合は、物販はご遠慮下さい。
  - ・ファンも演者も、握手後は「手洗い」までは絶対に「目鼻口」を触らない。
  - ・2 メーター以下の距離にいる場合、「マスクをして会話は小声」を徹底する。
  - 「ハグ」は原則禁止(する場合は「入浴」までは絶対に目鼻口を触らない)。





マイクにはフェイスガードを設置

### (3)店側の対応

観客への注意事項を全て踏襲。それに加えて以下を実施。

- ・食事を提供しない (接触感染回避のため)
- ・飲み物は「瓶」「カン」にて提供(飛沫感染リスクを最小化するため)
- ・ボーカル・コーラス用マイクは演者毎に交換。
- ・ドアノブ、手すり等を開始前、開始後、休憩中等に消毒

# 4. その他

# (1) アンケート調査

下記のアンケート調査を当日配布し、回収した。

	Show·Must·Go·On·アンケート調査←
≠ 今回のライフ	ガは、 <mark>「満足できた」</mark> と、どれくらい思いましたか? <mark>■</mark>
←	どちらとも+ 強くそう思った+ 言えない+ 全くそう思わなかった+ ◆
∉ 今回のライフ	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
<del>1</del>	どちらとも+ 強くそう思った+ 言えない+ 全くそう思わなかった+ ◆
「今回の話を いましたか? ←	を聞いて、どうすれば感染が防けるかが、よく分かった」と、どれくらいだと思    e
「今日の話を	E聞いて、コロナについての不安が小さくなった」と、どれくらい思いましたか? e とちらともe 音えないe 全くそう思わなかったe ← □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	<b>さきに、自分が気を付けることで、感染リスクを大幅に減らすことができる」と、 はいますか?</b> 会(そう思う)
	フスやシアター、映画館の席が『満席』でも、しっかり対策していれば、感染の 。どない」と、どれくらいだと思いましたか?∉
4	どちらともe 強くそう思うe 言えないe 全くそう思わないe ◆
□完全に	<ul> <li>外出すると、どれくらいの確率で感染してしまうと思いますか? ←</li> <li>0%→□約 0% → □約 10% → □約 20% → □約 30% → □約 40% → □約 50% → □約 50% → □約 70% → □約 80% → □約 90% → □約 100% → □完全に 100% ←</li> </ul>
□完全に	- 回、人と接触すると、どれくらいの確率で感染してしまうと思いますか?↔ 0%→□約 0% → □約 10% → □約 20% → □約 30% → □約 40% → □約 50%↔ → □約 70% → □約 80% → □約 90% → □約 100% →□完全に 100%↔
。 最後に、「 <mark>年</mark>	齢」「性別」は?↩
	〕□□才□□□□□男□□女↩
	以上中

京都大学レジリエンス実践ユニット↔

回答サンプルの属性は以下。

- ・サンプル数=13 (男性7名、女性5名)
- · 平均年齢 42.8 才 (標準偏差 11.8)

回答値の統計値は以下の通り。

(※「全くそう思わない」が 1、「強くそう思う」が 7、どちらとも言えないが 4 の 7 段階の数値にて集計)。

	平均	標準偏差
今回のライブは、「満足できた」と、どれくらい思いましたか?	6.7	0.5
今回のライブで、「感染してしまったかも?」と、どれくらい思いましたか?	1.5	0.8
「今回の話を聞いて、どうすれば感染が防げるかが、よく分かった」と、ど れくらいだと思いましたか?	6.6	0.6
「今日の話を聞いて、コロナについての不安が小さくなった」と、どれくら い思いましたか?	6.5	0.8
「外出するときに、自分が気を付けることで、感染リスクを大幅に減らすことができる」と、どれくらい思いますか?	6.6	0.8
「ライブハウスやシアター、映画館の席が『満席』でも、しっかり対策してい	6.1	1.1
あなたは一回、外出すると、どれくらいの確率で感染してしまうと思いますか?		4.4
あなたは、一回、人と接触すると、どれくらいの確率で感染してしまうと思いますか?	6.4	9.1

### (2) 抗原検査キットのライブハウス内での実施可能性について検討

抗原検査キットを活用し、演奏者が自ら「唾液」を採取したものを提供してもらい、それを用いた検査をライブハウス内で実施できるか否かを確認。結果、唾液採取を前提とした検査キットがあれば、ライブハウス内で検査可能であることを確認した。

以上